

## 令和6年度 芸術科 「音楽Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	MOUSA（教育芸術社）	副教材等	ヴァイオリン（レンタル）

## 1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
前期	4	劇と音楽	ミュージカル鑑賞 「オペラ座の怪人」	○発声法や歌唱法に興味をもち、自分の声を伸ばすための技能を身につける。 ○劇や物語と音楽の関わりを意識して表現を工夫する。 ○ミュージカル作品を体験する。	授業への取り組み 鑑賞態度 ワークシート、提出物
	5	詩と音楽①	オペラ・アリアの鑑賞 Nel cor piu non mi sento Sehnsucht nach dem Frühlinge	○発声法や原語での歌詞唱に興味・関心をもち、自分の声をさらに伸ばす。 ○オペラの一場面を鑑賞する。 ○詩と音楽の関係について追究する。	実技発表
		西洋音楽史と鑑賞①	民族音楽の要素および超絶技巧による表現効果 「ツィガーヌ」他	○音楽の諸要素とその働きと表現上の効果とのかかわりを理解する。 ○ロマン派という概念について理解を深める。 ○民族音楽の要素について知る。 ○ロマン派における民族音楽を体験する。	授業への取り組み 練習経過 ワークシート、提出物 鑑賞態度
		音楽理論 音楽の構成①	音程・音階・和音調性	○和音リズムの構造を知る ○音階の性質を知る。 ○調性について	授業への取り組み 鑑賞態度 提出物
	6	器楽	ヴァイオリンの基本奏法	○アンサンブルに興味を持ち、楽しみながら表現する。 ○アンサンブルを通して、効果的な演奏表現を考える。 ○楽器の表現に親しみ、表現の良さを味わう。	授業への取り組み 練習経過 授業への取り組み 実技発表
	7	表現	コードネームの活用と実践 「ハナミズキ」 「歩いて帰ろう」	○ギターやキーボードを使って弾き語りに挑戦する ○コードネームについて理解する。 ○コード進行について探究する。 ○選曲とアンサンブル練習	授業への取り組み 練習経過 実技発表 提出物
	8	まとめ		○発表	
	9	我が国の伝統芸能	歌舞伎鑑賞 京鹿子娘道成寺	○前期学習の確認 ○歌舞伎や歌舞伎音楽について探究する。	授業への取り組み 鑑賞態度、提出物

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
後 期	10	創作①	コードネームを 活用した旋律 づくり	○言葉、リズム、音程の関係を知る ○和声音による旋律をつくる ○非和声音を含む旋律をつくる ○機能と和声を理解し、コード進行を考える ○詩にメロディーをつける	授業への取り組み 提出物
	11	詩と音楽②	言葉と音楽の 関係を探る  「浜辺の歌」	○詩と音楽の関係について追究する ○音楽の諸要素とその働きと表現上の効果と のかかわりを理解する	授業への取り組み
	12	創作②	オリジナルソング をつくる	個人創作活動 ○詩をつくる ○コード進行を使いメロディーをつくる	授業への取り組み 楽譜
	1			グループ活動 ○効果的な演奏発表について考え、表現を工夫する ○発表練習 ♪「作品発表会」 ○清書楽譜を作成する	授業への取り組み 練習経過 役割分担と集団への貢献 実技発表 提出物
	2		学年末 コンサート	♪“The Final CONCERT” ○演出上の効果を考え、表現を工夫する。 ○イメージをもち、楽器の音色や奏法の特徴 を生かした表現を工夫する。	授業への取り組み 練習経過 役割分担と集団への貢献
	3			○感想と意見交換	実技発表 提出物

### 3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。</li> <li>・曲や演奏することと生活や社会との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱や器楽表現をするために必要な技術を身に着けている。</li> </ul>
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

実技発表、提出物、音楽の活動状況を対象にして知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度、の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

音楽は、さまざまな表現手段の中でも、互いのコミュニケーションによって形成され共有できるものです。そして、表現技術の習得や音楽の美しさを感じ取り理解する過程は、知的なものと感覚的なものをつなげ調和を図ります。  
生徒の皆さんには、授業の中で音楽活動を通じて、ものごとの価値を見出し、自分らしさを発見して欲しいと願っています。そのためには積極的な取り組みが大切です。  
皆さんが将来、個性豊かに社会で活躍し豊かな人生を送ることができるよう、音楽の授業のなかでたくさんの音楽経験を積んでください。